

平成29年 10月のきになる通信



ワックス進化、乾拭き不要 床の艶出し スイスイ30分

まず汚れ除去 家具そのまま

- ・現在のワックスは成分が異なります。以前は文字通りロウを主成分としていましたが、いまはアクリル樹脂が主体。床にプラスチックの硬いコーティングを施しているのとはほぼ同じで、傷に強く滑りません。
- ・床の上に置いた家具は、椅子など簡単に動かせるもの以外はそのままにしておきます。
- ・家具から2～3cm離れた位置までしか塗らないので、家具への付着を防ぐために養生する必要もありません。
- ・ワックスがけで重要なのは事前の汚れ落としです。そのまま塗ると黒ずみや髪の毛を閉じ込めてしまい、かえって汚く見えます。足裏から付着した皮脂の除去も欠かせません。
- ・市販のフロアワイパーの先にワックス用のシートを取り付け、底が広くて平らなトレーやたらいに5ミリ分ほどワックス液を入れます。液体の量は少なめが適量。
- ・床に液体を直接まくと、塗りむらが生じやすいので避けます。

部屋の奥から入り口の順に

- ・木目に沿って床の上を滑らせるようにゆっくり一定方向に塗ります。フローリングの表面が白く見えるようでは液量が多すぎ。強くこすったり、部屋の四隅で急いで方向転換したりすると気泡が生じてそのまま固まるので注意。
- ・部屋の奥からかけ始め、入り口まで後退しながら作業すれば乾きかけのワックスをうっかり踏むこともありません。
- ・所要時間は15畳前後の部屋でも10分程度。30分ほど乾燥させれば完了。
- ・市販のワックスは、耐久性が6か月～1年の場合が多いようです。

上手なワックスがけのポイント

- ☆ゆっくり滑らせるように動かす
- ☆部屋の奥から出口に向けて塗る
- ☆窓を開け、天気の良い日に作業する

(2017年9月23日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



住まいのきになる - 外壁(モルタルの場合) その9

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」) 症状 - 壁に段差ができた

☆壁に何カ所も段差ができているのか、段差が縦か横のどちらかに長く出ているのかを観察します。また、ひびが入っていないかも確認します。

☆考えられる原因

・下地のあばれで出ることがあります。また、ベニヤ等の下地の場合は、ベニヤの形そのままの段差が出ることもあります。材料の収縮が原因になることが多いようです。

☆対処方法

・現在の仕上げ材の上から厚い材料を塗ったり、吹き付けたりすることができますが、原因によっては同じ症状が同じ場所に再度出ることがあります。

・現在の仕上げ材の上から下地を作り塗ることもできます。また、サイディングを貼ることもできます。しかし、壁が厚くなることで、サッシなどの納まりに支障をきたすこともありますから、専門家(工務店)に相談しましょう。



住宅診断 - ホームインスペクション その9

現象は、判定基準や診断根拠とともに説明

・依頼者に事象を報告する際は、判断根拠や判定基準に基づいて、冷静に説明することが重要です。

・診断結果を報告する際には、数値的な判定基準があるものはその数字を、複数個所の現象をもとに原因を推察した場合にはどういった箇所を見て判断したのかなど、できるだけ判定基準や診断根拠を説明しなければなりません。

・「建物の継続使用に問題があるかどうか」という依頼者の疑問に対し、ストレートで分かりやすいアドバイスをしなければならないのです。

(NPO法人日本インスペクターズ協会 ホームインスペクター資格試験テキストより抜粋引用)

